

第2部 施策別計画

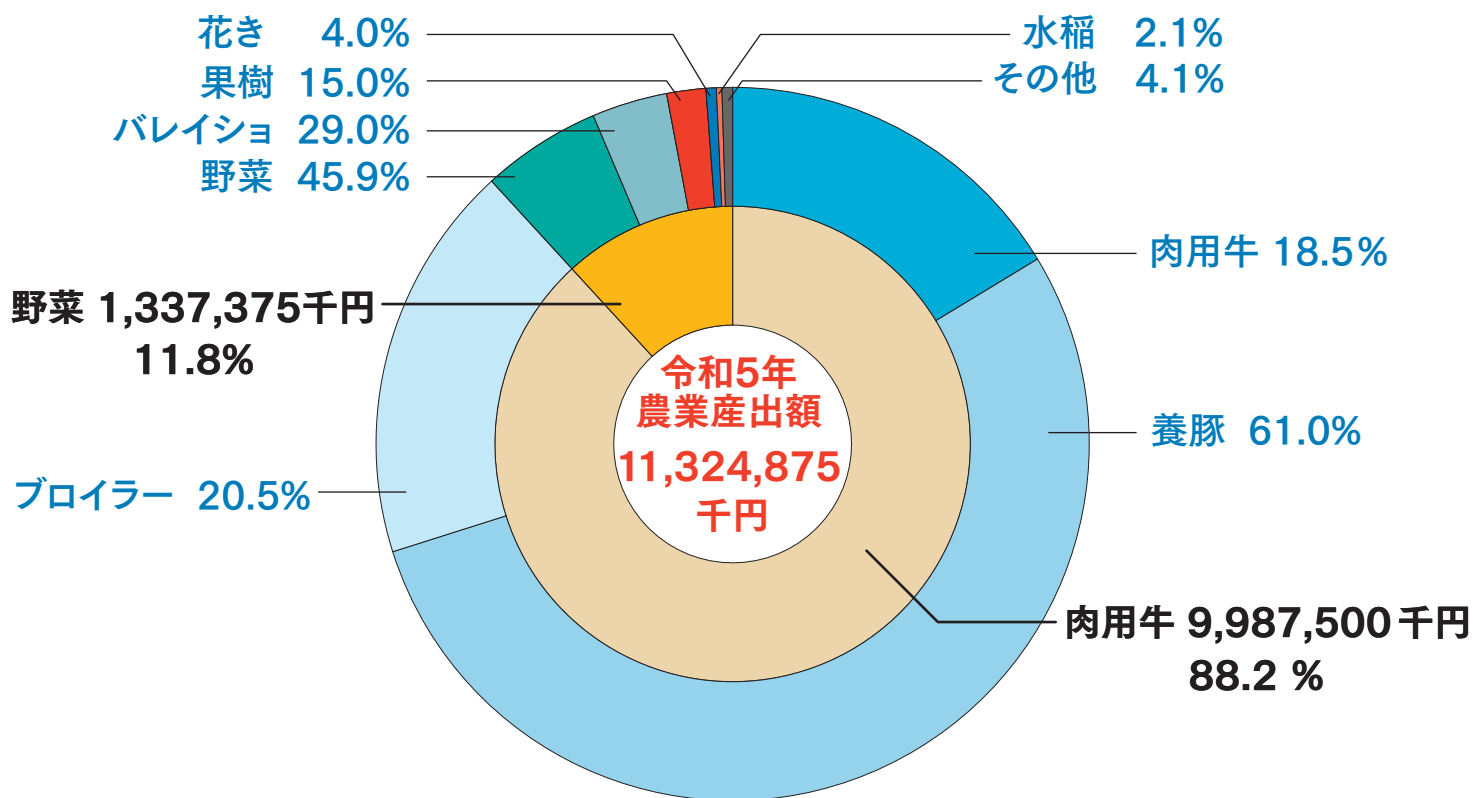
第1章 誰もが生き生きと働き、訪れた人が「また来たい」と思えるまち

1. 農林水産業の振興

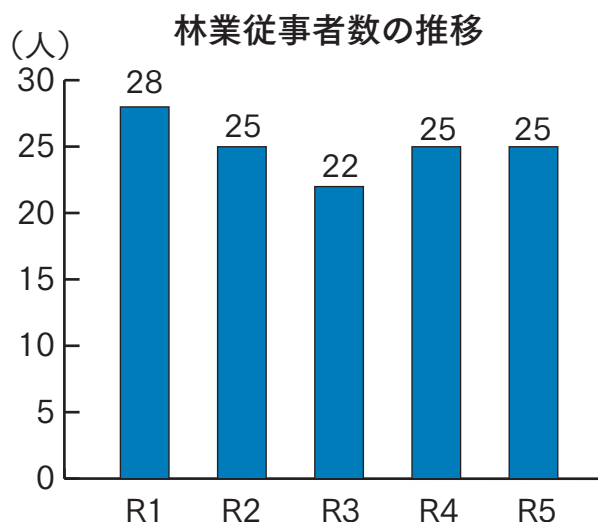
担当課 経済課 農業委員会 企画観光課

現状と課題

・農業は、本町の基幹産業であり、温暖な気候を活かした露地野菜・施設野菜をはじめ、果樹・花き等の施設園芸が定着しており、就農支援や省力化機械・施設等の整備により、生産拡大を進めています。しかしながら、農業従事者の高齢化、後継者不足により年々、離農者や遊休農地の増加などを要因に厳しい状況となっています。また、本町農業産出額の9割近くを占める畜産は、令和6(2024)年9月現在、養豚・養鶏経営の販売単価は好調なものの、世界情勢の悪化による和牛の消費低迷に併せ、畜産業全体の生産コスト増加による経営難が続いています。農家の高齢化、後継者不足も深刻な状況にあり、畜産業の生産基盤維持のため、新規就農者対策及び後継者育成対策等が必須となっています。



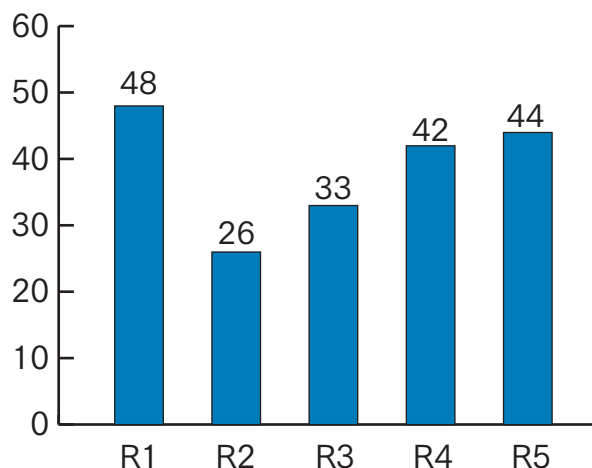
・本町の林業は、主に林業従事者の担い手不足、不十分な森林整備が課題となっています。また、伐採後の造林がなされていない箇所も多数あり、その森林をどのようにして整備していくかが今後の課題となっています。



現状と課題

- ・本町の漁業は、温暖で栄養分豊富な錦江湾口から佐多岬近海の海域で養殖業をはじめとする各種漁業経営が営まれ、水産業の生産額は安定していますが、漁業従事者の高齢化、担い手不足に加え、気候変動や世界的な社会経済情勢の変化などを要因に厳しい状況となっています。

(億円) 水産物生産額の推移



目指す状態

対象 農林水産業従事者 林業事業体 農林水産物 農地 森林 漁港施設

意図 農林水産業の生産額と生産者の所得が増え、経営が安定しています。

KPI¹³

指標	現状値	目標値
農業産出額	113億円(R5年)	126億円(R10年)
林業事業所数	4事業所(R5年度)	4事業所(R11年度)
漁業生産額	44億円(R5年)	48億円(R10年)

主な取組

農業振興	担当
・担い手の確保・育成及び地域農業を支える農業従事者への支援を強化します。	経済課、農業委員会
・地域農産物の競争力強化(ブランディング)に取り組むとともに観光や商工業との連携による農業の魅力づくりに取り組みます。	経済課、農業委員会、企画観光課
・持続可能な生産体制の構築と栽培技術の導入(スマート農業 ¹⁴)を推進します。	経済課、農業委員会
・担い手農家への農地集積を図るなど遊休農地の発生防止および解消を図ります。	経済課、農業委員会
・農家の高齢者対策として、経営を維持する意欲の高まる環境の確保に取り組めます。	経済課
・新規就農者及び後継者育成のための施策に取り組めます。	経済課

¹³ KPI Key Performance Indicator 重要業績評価指標: 施策・事業の進捗状況や効果を検証する際に、達成の度合いを定量的に測るために設定する指標。

¹⁴ スマート農業 ロボット技術やICTを活用して超省力・高品質生産を実現する農業。

主な取組	林業振興	担当
・間伐、人工造林、下刈への助成を行い、森林整備を促すことで、森林環境の保全を図ります。		経済課
・林業退職金制度、社会保険制度、労災任意保険制度への加入に対し助成を行うことで、林業従事者及び事業体の負担を軽減し、林業担い手の確保、林業体制の強化を図ります。		経済課
・集材路開設に係る事業費に対し助成を行うことで作業道整備を促し、生産基盤の充実を図ります。		経済課
主な取組	水産業振興	担当
・担い手の確保・育成、並びに安全な漁業労働環境の確保に取り組みます。		経済課
・観光業と連携したブルーツーリズム ¹⁵ の取組を推進します。		経済課、企画観光課
・持続可能な生産体制を構築するため、漁場環境保全と水産資源の維持増大に取り組みます。		経済課

個別計画・関連計画	・南大隅町農業振興ビジョン後期計画(令和5年度～令和9年度) ・浜の活力再生プラン
-----------	--

¹⁵ ブルーツーリズム 漁村に滞在し、様々な漁業体験やその地域の自然や文化に触れ、地元の人々との交流を楽しむ旅のこと。







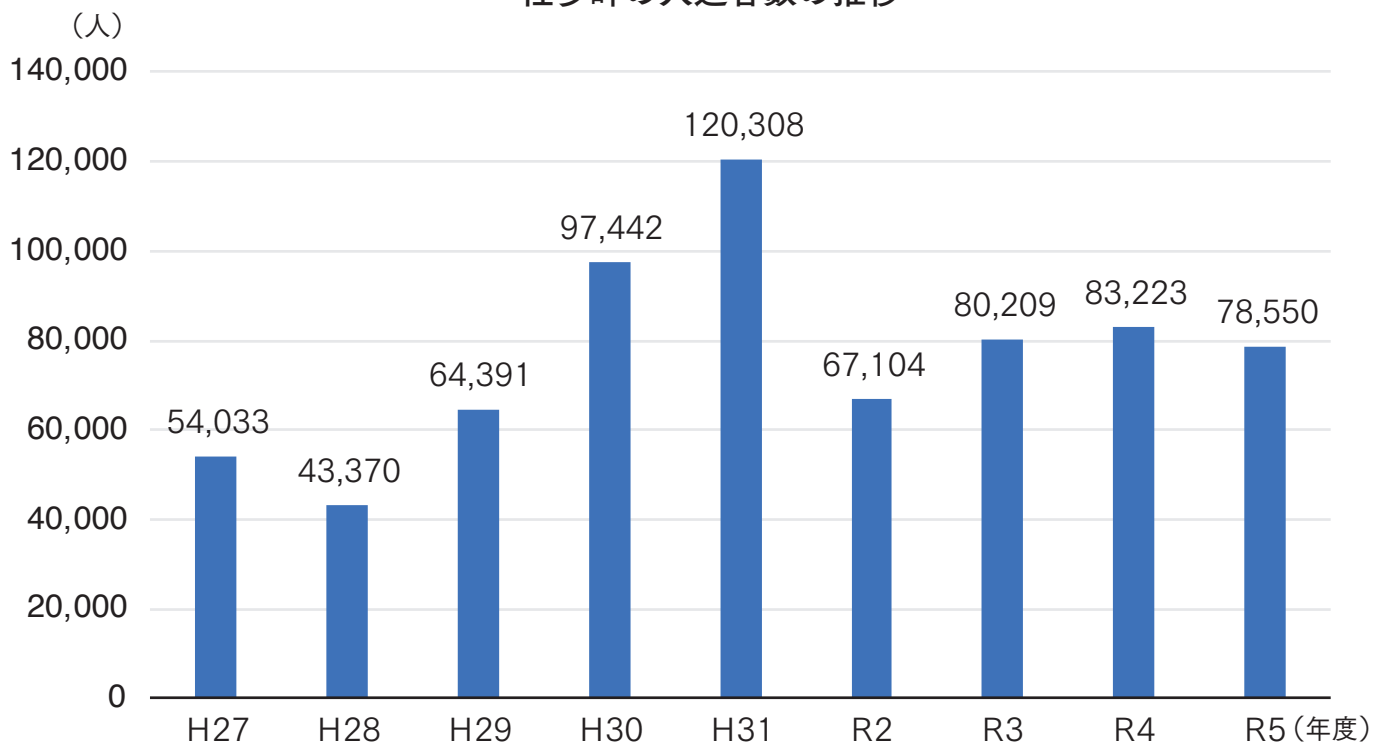
2. 商工・観光業の振興

担当課 企画観光課 経済課

現状と課題

- ・本町の商工業は、国道沿いを中心に営まれていますが、その多くは家族経営の小規模事業者であり、店主の高齢化や後継者不足・施設の老朽化による空き店舗の増加がみられます。
- ・人口減少による消費の縮小により、非常に厳しい現状があり、更に、店舗等の減少により、町民の普段からの生活必需品等の購入が困難な状況になることが予想されるため、買い物困難者の対策が必要となっています。
- ・本町が有する製品の認知度が不十分であるため、特化した町のPRへとつながっていない現状となっています。
- ・町の観光業については、「佐多岬」「雄川の滝」の観光資源により、来訪者が多くみられるものの、地域への経済波及効果や雇用創出効果を町内で幅広く享受できていません。
- ・今後は、観光客と商工業者の交流機会を創出するとともに、更なる交流人口や関係人口の拡大を図り、町内事業者とその生産物の認知度を高め、町内外での販売力の強化を図っていく必要があります。

佐多岬の入込客数の推移



目指す状態

対象 商工業者 特産品 観光関連事業者 観光客 イベント関係者

意図 交流人口と関係人口の拡大により商工業者の売上が増加し、経営が安定しています。

KPI

指標

現状値

目標値

商工会会員数	268会員(R5年度)	→	280会員(R11年度)
佐多岬の入込客数	78,550人(R5年度)	→	100,000人(R11年度)
ふるさと納税寄付金額	50,000千円(R5年度)	→	100,000千円(R11年度)

主な取組

	担当
・地域の農畜産物・水産物等を活用して、農林水産業と連携した地域に根ざした商工業の展開を図ります。	企画観光課、経済課
・地域の産物・加工品のブランド化の確立を図るために、PRの場を積極的に展開し、情報発信に努めます。	企画観光課
・活力ある地域企業の育成を図るため、新製品開発に対する支援を行います。また、商品開発に伴い、商談会や物産販売等への参加を促し、参加に対する支援を継続して行います。	企画観光課
・関係人口、交流人口の拡大とふるさと納税寄附金制度を最大限活用することで域外への販路の拡大による産業振興と町の財源確保に努めます。	企画観光課
・老朽化した町が管理している観光関連施設等を整備・改修し、おもてなし環境の改善を図ります。併せておもてなしのための観光推進体制を充実させます。	企画観光課

個別計画・関連計画





3. 起業・創業活動等への支援

担当課 企画観光課

現状と課題

- ・本町の商工業の多くは家族経営の小規模事業者であり、人口減少による消費の縮小に加え、高齢化や後継者不足・施設の老朽化により経営及び就労は非常に厳しい状況です。
- ・また、高校卒業後は町外に就職するケースが多く、若年層の町外流出の要因となっています。
- ・町内における就労の場を確保するため、起業・創業者の育成や企業誘致、町内企業の事業拡大支援や事業承継などに取り組む必要があります。

目指す状態

対象 町内外の企業 町内で起業・創業・就労を希望する人

意図 町内で起業・創業する人が増えるとともに、企業誘致等が進み、安定した就労の場が確保されています。

KPI

指標

「起業・創業活動への支援」に関する
町民の満足度
（「満足」と「やや満足」の合計）

現状値

37.2%*
（R5年度）



目標値

50.0%
（R11年度）

主な取組

- ・既存企業が事業拡大を進めていくことができるよう支援を行い、町独自の補助事業の創設など、効果的な制度の活用・確立を図ります。
- ・起業・創業等の意欲的な活動や既存中小企業の経営基盤強化など積極的な経営活動を金融面から支援し、雇用の創出を図ります。
- ・起業・創業者や中小企業の資金ニーズを的確に把握するため、起業・創業活動への相談体制の確立を図ります。
- ・雇用の創出や新たな税収確保などを目指し、情報収集に努めながら、優良企業の誘致活動の強化を図ります。

個別計画・関連計画

*令和5(2023)年度「南大隅町のまちづくりに関するアンケート調査」結果

